

イギリスに行つて

中二 中田 太郎

ぼくは、これまで、アメリカ、カナダの少年武徳祭に出場していたけれど、今回のイギリスの武徳祭では日本チームの一番年上で出場しました。それで、リーダー的存在でいて頑張つてみんなを引っ張ろうと思ひました。集合の時の号令をかけた時、日本代表で国旗掲揚をしたりしました。あまり経験したことがないので、うまくできたかどうかは分かりません。

武徳祭が始まつて大人や子ども達の演武を見ていて、外国人なのにすごく礼儀正しいし、演武もよくできているなあとと思つてぼくも負けずに頑張ろうと思ひました。

自分たちの演武ではとても緊張したけれど、結果ぼくは最優秀賞を個人と団体で取ることが出来ました。とても嬉しかったです。

また、イギリスでは色々な城やエリザベス女王の博物館へ行つたりしてすごくいい観光や体験が出来ました。大阪の人たちや外国の人たちと仲良くできて、すごく良かったし、また友達が増えて良かったです。カナダで知り合えたゼッドとも再会できたこともとても嬉しかったです。次はイタリア大会があると聞きました。その時にも会いたいです。

イギリスに行つてすごく勉強できたし、いい体験ができたと思つて

います。

夏の日に 日の丸掲げて 植樹祭

日英同盟友好親善 百一周年記念武徳祭

心月無想柳流柔術甲武館

範士八段

川村 八朗

この度日英同盟締結百一周年を記念し、英国国立公園ベッジベリー・ナショナル・パインタムにて、百一本の吉野桜の植樹と石塔の設置が行われました。

ケリー伯爵をはじめタンブリッジ・ウェルズ市長等来賓を迎え、厳かな中にも和やかな式典が執り行われました。

桑原理事長にはその貢献を讃え、市長から感謝状と楯が贈られました。

これは私達一同にとつても大変名誉で誇らしいことでした。

式典に先立ち、今回の植樹を担当されたロビンソン氏が桑原兵充代表理事にぜひ見ていただきたいということで、私も共に楯の木が植樹された場所、向かい側の丘へ案内されました。

これは桜の木を贈られた感謝を込めて、桑原兵充代表理事に捧げられたものだそうです。

桜が満開になればあちらの丘から楯の木がそれを見ている様に、また桜の方も楯の木を見ている様にと、ロビンソン氏からの心のこもつ